



小 / 理科 / 6年 / 生物と環境 /
人と動物の体 / 理解シート

ほね 骨のはたらきを、教えて



骨は体をささえたり、やわらかい内臓を守る役目をす
るほか、血液をつくる仕事もしているのさ。

骨のおもな役目は、体をささえることです。骨があるから大きな体になれて、筋肉のたすけで、活発に動きまわることができます。骨がないナメクジやミミズは、大きな体にはなれません（イカやタコなどは、水が大きな体をささえています）。

人間のろっ骨は、息をするとき胸を広げたりせばめたりする役目をし、骨ばんは、やわらかい内臓を守る役目をしています。かたい頭骨は、いちばん大切な脳をかこんで守り、何かにぶつかっても、切りつけられても安全なように、ヘルメットの役目をしています。

骨のもう一つの大切な役目は、血液のおもな成分である、赤血球、白血球、血小板をつくっていることです。

血液は、骨の中でつくられる

骨は、じょうぶですが、意外に軽いものです。骨がかたいのは外側だけで、中はスポンジのようなつくりになっていて、中心部分には、赤や黄色のやわらかい「骨ずい」とよばれるものが入っています。この骨ずいで、血液の成分がつくられています。また、骨自身も、全身をまわる血液から養分や酸素を受け取り、たえず、古くなった部分をこわして新しい骨をつくったり、成長したりしています。

骨のおもな成分は、カルシウムやリンなので、骨を強くしたい人は、これらがたくさん入った、牛乳や小魚をとりましょう。

